

土木の日 2023 投稿画像



岡田建設株式会社 (愛知県)



株式会社千原組 (熊本県)



国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所



神奈川県立横須賀工業高等学校

土木の日 2023 投稿コメント

土木に関わる人、土木を愛する人、応援する人が一体となったアクション、とても良かったと思います。

一つの目標に向かって様々な関係者が団結するのがすごく楽しいし、各メンバーの笑顔に元気をもらいました。

自分で投稿するのも楽しかったですが、みなさんの投稿を見るのも楽しかったです！

SNSでのアップを初めてしたので、キッカケをいただけて良かったです。

アクションを通して、土木の認知度の向上や可能性を広げることができました。さらなる拡大を目指して来年度もアクションを実施します。そして、もっと多くの人に参加してもらい、土木の魅力を発信・共有することで「土木を憧れの職業ナンバー1へ」を目指していきます。

読者のみなさんも、ぜひ協力してください。一緒に、土木の日を盛り上げましょう。ラブラブ土木——！！



【土木の日にSNSをジャック!】

～土木を憧れの職業ナンバー1にするプロジェクト～



#土木の日2023



みなさん、土木は好きですか？土木学者のデミー博士です。2021年度から「DOVOC通信ながさき」のライターを務めています。今回は記念すべき10回目の記事に、私が主催した日本初の土木プロジェクトについてお話しします。

そのプロジェクトとは、「#土木の日2023土木でSNSをジャックするアクション」です。2023年11月18日に、全国の土木関係者や土木ファンが一緒にSNS(X(旧Twitter)、Instagram、Facebook)に①共通のハッシュタグ「#土木の日2023」と②土木に関する写真・映像・メッセージを投稿することで、土木の知名度を上げるとともに、土木のトレンドワード入りを目指すというものです。

なぜこのプロジェクトを始めたかという点、私は土木の魅力をもっと多くの人に知ってほしかったからです。私たちの暮らしは、道、橋、トンネル、ダム、水道、港、公園、堤防など、土木の力によって支えられています。土木従事者は、暑い日も寒い日も、時には災害のときも、市民の命と暮らしのために黙々と働いています。その姿はなかなか目にすることができません。

だからこそ、土木の日に、土木従事者の活躍をSNSで見せることで、土木の世界に興味を持ってもらうと思ったのです。

このプロジェクトを実現するために、私は漫画家の信吉さんとダム愛好家のナオさんと一緒にチームを結成しました。私たちは専用ウェブサイトを投稿に使うデザインシートを製作し、SNSなどで全国に呼びかけを行いました。すると、全国建設青年会議や国土交通省など、多くの関係機関や団体、個人、そしてメディアがアクションに賛同してくれました。私たちは感激しました。

そして、いよいよ当日。2023年11月18日に、私たちはSNSに投稿を始めました。全国の土木関係者や土木ファンが続々と投稿をしてくれました。土木従事者の笑顔、工事現場の様子や、完成した建造物の美しさや、土木の歴史や文化など、さまざまな土木の魅力がSNSにあふれました。投稿を見るだけで、土木の世界にワクワクドキドキしました。SNS内で「#土木の日2023」で検索してみてください。きっと、土木の魅力に感動するはずです。

このアクションの結果は、驚くべきものでした。Xで約2000件、Instagramで約1300件の投稿があり、Xではトレンドワード43位にランクインしました。これは、日本の土木界にとって、歴史的な快挙です。このアクションに参加した方々からは、たくさん感想やコメントが寄せられました。その中から、いくつかご紹介いたします。